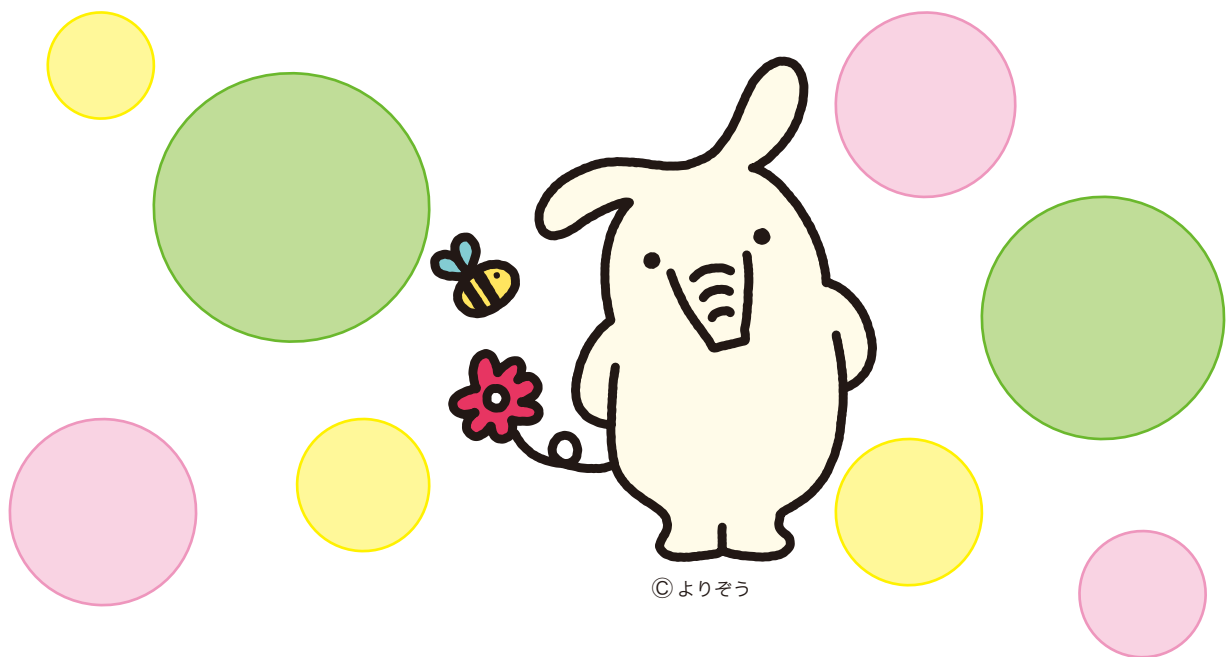


DISCLOSURE

**JA宮崎信連の現況
(2019年9月末)**



目 次

経営理念・経営方針	1
主要勘定の状況	2
損益の状況	2
単体自己資本比率	2
リスク管理債権	3
金融再生法開示債権（単体）	3
金融再生法開示債権区分に基づく保全状況	3
有価証券等時価情報	4
J Aグループ・J Aバンクシステム	5
社会的責任と貢献活動	6
組織・機構	12
ホームページのご案内	13

本冊子は、農業協同組合法施行規則第207条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
金額は、原則として、単位未満を切り捨てのうえ表示しております。



経営理念・経営方針

当会は、宮崎県を事業区域として、地元のＪＡ等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のＪＡにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。当会では資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、ＪＡ・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいております。

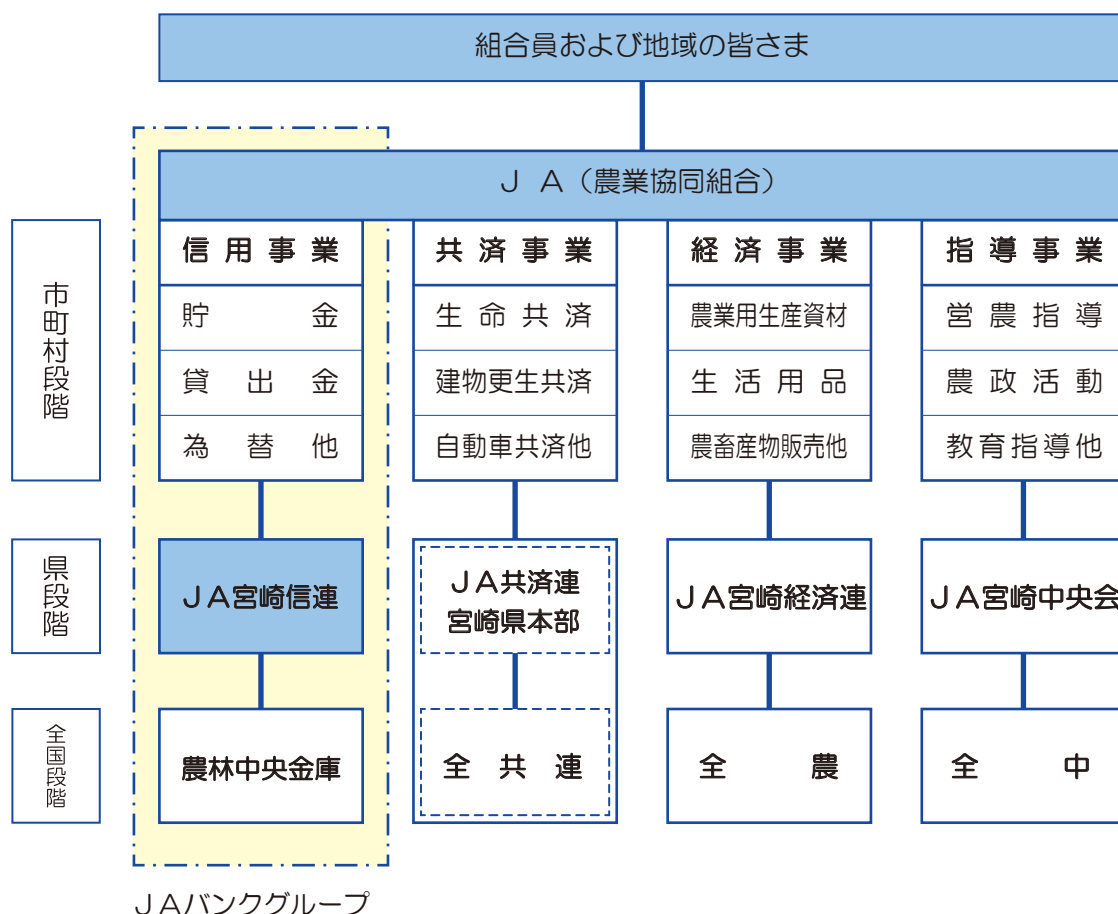
当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

その中で当会は、ＪＡ組合員等利用者基盤の維持・拡充を図りつつ、ＪＡバンクの一体的な事業運営とＪＡバンク全体の安全性・効率性の確保に努め、ＪＡバンク自己改革を実践していくため、2019年度から2021年度の中期経営計画を策定し、以下の基本方針のもと、組合員や地域の皆さまに信頼される経営、かつ利用者主導のサービス提供を目指した業務運営を行っております。

1. 組合員・利用者から信頼され、選ばれるＪＡバンクの構築
2. 経営体質の強化・安定による収益確保と会員への還元機能発揮

● ＪＡグループ組織図

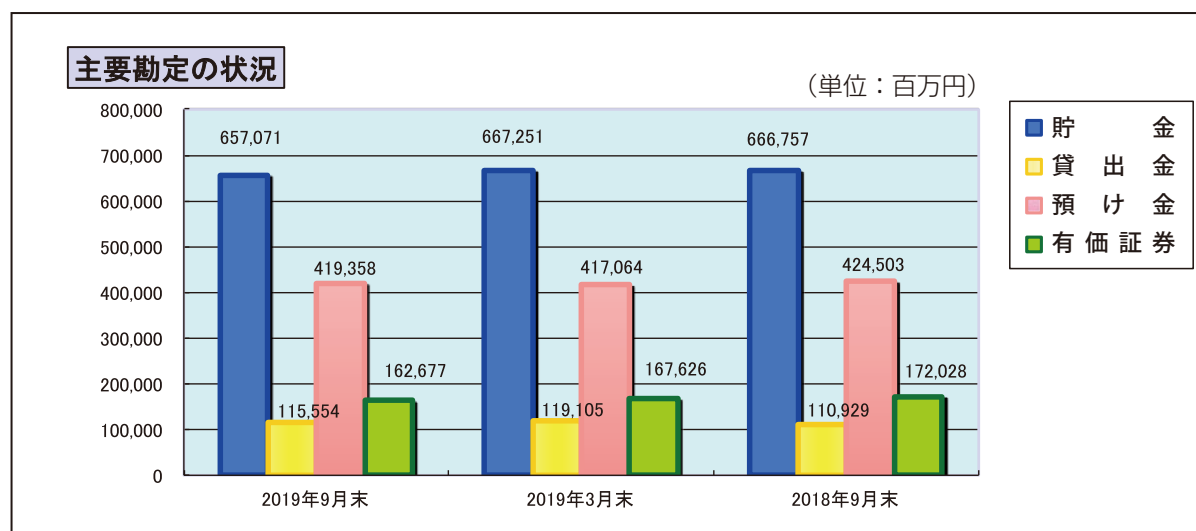




主要勘定の状況

(単位：百万円)

	2019年9月末	2019年3月末	2018年9月末
貯 金	657,071	667,251	666,757
貸 出 金	115,554	119,105	110,929
預 け 金	419,358	417,064	424,503
有 価 証 券	162,677	167,626	172,028



損益の状況

(単位：百万円)

	2019年度半期	2018年度半期	2018年度
経 常 利 益	1,408	1,652	1,838
当 期 剰 余 金	1,049	1,219	1,550



単体自己資本比率

(単位：百万円)

項 目	2019年9月末	2019年3月末	2018年9月末
自 己 資 本	52,650	51,594	51,729
リスク・アセット等	285,690	283,262	241,217
自 己 資 本 比 率	18.42%	18.21%	21.44%

(注) 金融庁・農林水産省告示第2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に基づき算出しております。



リスク管理債権

(単位：百万円)

区 分	2019年9月末	2019年3月末	2018年9月末
破綻先債権額	286	287	287
延滞債権額	70	70	71
3カ月以上延滞債権額	—	15	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
合 計	357	372	359

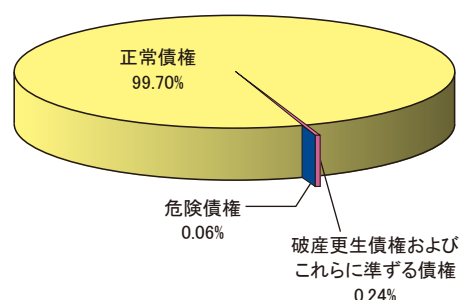


金融再生法開示債権（単体）

(単位：百万円)

債権区分	2019年 9月末	2019年 3月末	2018年 9月末
破産更生債権 およびこれら に準ずる債権	287	287	289
危険債権	69	70	74
要管理債権	—	15	—
正常債権	118,008	121,709	113,810
合 計	118,366	122,082	114,173

総与信に占める各債権の割合（2019年9月末）



(注) 1. 破産更生債権およびこれらに準ずる債権

… 破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

2. 危険債権 … 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本回収および利息の受取りができない可能性が高い債権です。

3. 要管理債権 … 基本的には、3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。

4. 正常債権 … 債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記1～3に該当しない債権です。



金融再生法開示債権区分に基づく保全状況

(単位：百万円)

債 権 区 分	債 権 額	保 全 額			
		合 計	担 保	保 証	引 当
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	287	287	0	—	286
危険債権	69	69	10	—	59
要管理債権	—	—	—	—	—
小 計	357	357	11	—	345
正常債権	118,008				
合 計	118,366				



有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区 分	取得価額	時 価	差 額
2019年9月末			
売 買 目 的	—	—	—
満 期 保 有 目 的	25,915	25,826	△ 89
そ の 他	132,842	136,761	3,918
合 計	158,758	162,588	3,829
2019年3月末			
売 買 目 的	—	—	—
満 期 保 有 目 的	27,823	27,427	△ 396
そ の 他	136,219	139,802	3,582
合 計	164,043	167,230	3,186
2018年9月末			
売 買 目 的	—	—	—
満 期 保 有 目 的	27,833	26,881	△ 951
そ の 他	140,264	144,195	3,930
合 計	168,098	171,077	2,978

(注) 有価証券の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。

取得価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他目的有価証券については償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しております。



JAグループ・JAバンクシステム

当会の貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との2重のセーフティネットで守られています。

●「JAバンクシステム」の仕組み

JAバンクは、全国のJA・信連・農林中央金庫（JAバンク会員）で構成するグループの名称です。組合員・利用者の皆さまに、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員の総力を結集し、実質的にひとつの金融機関として活動する「JAバンクシステム」を運営しています。

「JAバンクシステム」は「一体的事業運営」と「破綻未然防止システム」を2つの柱としています。

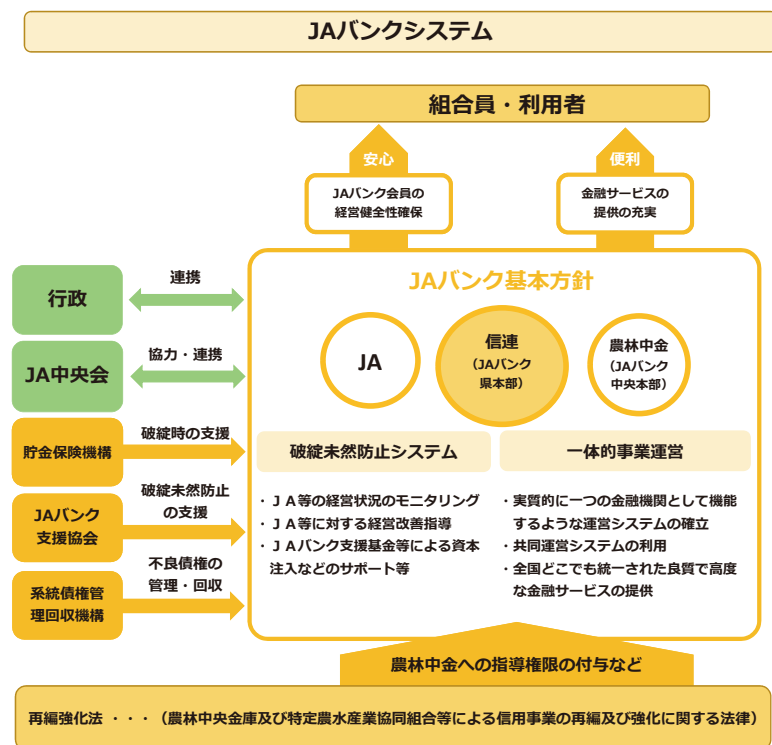
●「一体的な事業運営」の実施

良質で高度な金融サービスを提供するため、法令等を遵守したうえで、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業運営の取り組みをしています。

●「破綻未然防止システム」の機能

「破綻未然防止システム」は、JAバンク全体としての信頼性を確保するための仕組みです。再編強化法（農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）に基づき、「JAバンク基本方針」を定め、JAの経営上の問題点の早期発見・早期改善のため、国の基準よりもさらに厳しいJAバンク独自の自主ルール基準（達成すべき自己資本比率の水準、体制整備など）を設定しています。

また、JAバンク全体で個々のJAの経営状況をチェックすることにより適切な経営改善指導を行います。



●貯金保険制度

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払い戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信金、信組、労金などが加入する「預金保険制度」と同様な制度です。



社会的責任と貢献活動

当会は、宮崎県を事業区域として、地元のＪＡ等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

■■ 農業・地域への貢献を目指した取組み ■■

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化など、「ＪＡバンク自己改革」にて実施した施策については、不断の取組みとして引き続き農林中央金庫およびＪＡと一体となり取り組んでおります。

①メイン強化先・農業法人アプローチ先の全先訪問活動

地域の中核的な担い手となるメイン強化先や農業法人との関係構築・強化のため全先訪問活動を実施しております。

②メイン強化先・農業法人へのＣＳ調査

メイン強化先および農業法人の満足度向上を図るため、ＣＳ調査を実施しております。

③ＪＡバンク利子補給・利子助成事業

ＪＡバンク利子補給・利子助成制度の積極的な推進によって農業者の借入負担の軽減を図り、農業経営の成長支援を実施しております。

④ＪＡバンク保証料助成事業

農業近代化資金またはアグリマイティ資金の融資を受ける農業者が負担する保証料の助成を実施しております。

⑤農業応援金融商品の企画・販売

「食」と「農」を意識した金融商品の企画・販売を行うことで、県産農畜産物の消費拡大を応援しています。

⑥食農教育応援事業

県内の小学校へＪＡバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈するほか、各ＪＡが実施する食農教育（お米学習教室・農家のおじちゃんと語る会等）にかかる費用の助成を実施しております。

■■ 農業・地域の成長支援にかかる取組み ■■

多様化・高度化する大規模農業法人や担い手経営体のニーズに直接対応し、かつＪＡの取組みを積極的にサポートしております。

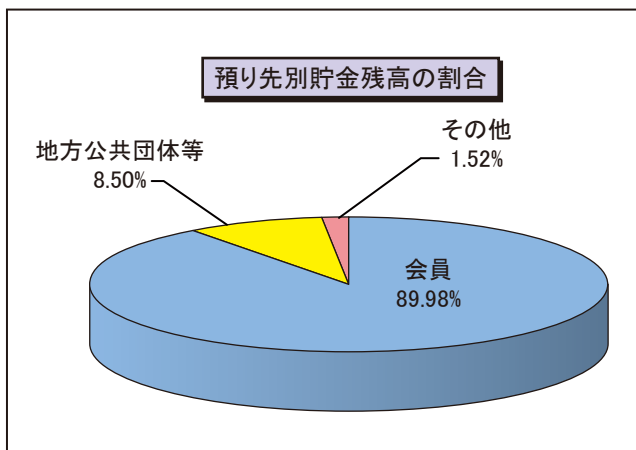
また、ＪＡ・連合会・農林中央金庫等との連携により農業法人との関係を構築・強化し、農業金融センター機能の強化・拡充に取り組んでおります。



■■ 地域からの資金調達の状況 ■■

● 貯金残高 (単位：百万円)

預り先	残高
会 員	591,244
地方公共団体等	55,817
金 融 機 関	—
そ の 他	10,009
合 計	657,071



● 貯金商品の販売

県下JAでは、統一企画商品として、まだまだこれから応援定期貯金「ゆとり」(2019年3月～5月)、懸賞付定期積金「たまらんトルン」(2019年4月～7月)、懸賞付定期貯金「サマーキャンペーン2019」(2019年6月～8月)を販売しました。

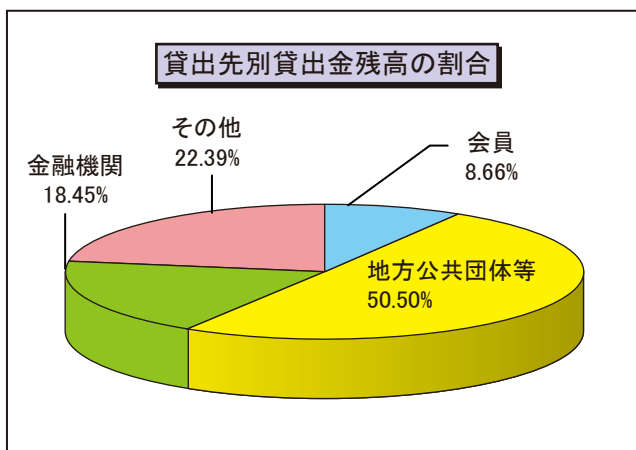
また現在、主に冬のボーナス商品として懸賞付定期貯金「ツクツクキャンペーン」(2019年10月～12月)を販売しており、懸賞品には宮崎県内の農畜産物カタログギフトを採用するなど、農業応援金融商品を企画・販売することで県内の農畜産物消費拡大にも努めております。



■■ 地域への資金供給の状況 ■■

● 貸出金残高 (単位：百万円)

貸出先	残高
会 員	10,008
地方公共団体等	58,355
金 融 機 関	21,316
そ の 他	25,872
合 計	115,554



● ローン商品の販売

県下JAでは、県下統一のローン商品として、マイカーローン、教育ローン、住宅ローン、リフォームローン、フリーローン等を通年商品として取扱っております。中でもマイカーローン、フリーローンについては、2018年10月より県下全JAにてネット申込みを開始するなど利便性の向上にも取り組んでおります。



※農業法人の皆さま向けにアグリプロモートローン「にはいて」を準備いたしております。

※現行の金利とは異なる場合があります。

● 制度融資取扱状況

(単位：百万円)

制度資金名	制度資金の概要	残高
農業近代化資金	規模拡大や設備投資等に必要な資金の融通を目的とした貸出金	1,283
合 計		1,283

■ お客さま本位の業務運営に関する取組方針 ■

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当会では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

(1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。

2. お客さま本位のご提案と情報提供

(1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。

(2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。

(3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するように、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

3. 利益相反の適切な管理

(1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

(1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

■■■ 地域密着型金融への取組み ■■■

(中小企業等の経営改善および地域の活性化のための取組みを含む)

● 農業者等の経営支援に関する取組方針および態勢整備

当会は、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「当会の最も重要な役割のひとつ」として位置付け、当会の担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け、「金融円滑化にかかる基本方針」を定め、農業者等の経営支援に取り組んでおります。

● 農山漁村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンクとして、担い手ニーズや経営状況を踏まえ注力すべき層の絞込みや対応を図るため、担い手金融リーダーを全J Aに設置し役割や機能を明確にするとともに、個々のスキルアップを図っております。

また、担い手がメインバンクに求める金融機能を適時・的確に提供していくため、農業法人向け資金「にないて」による支援や、農業法人向け資本供与としてアグリシードファンドの取扱い等に取り組んでおります。

● 営農サポート支援

組合員の所得向上を目指した営農基盤強化を図るとともに、「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」に取り組むため、「A S S I S T活動連絡会議」に参画し、担い手の育成支援、組合員の所得アップ、営農基盤の強化等に取り組んでおります。

● 直売所利用活性化への取組み

農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供、地域貢献を目的として、J A直売所でのJ Aカード利用時に5%を割引く施策を実施しております。

■■■ 文化的・社会的貢献活動 ■■■

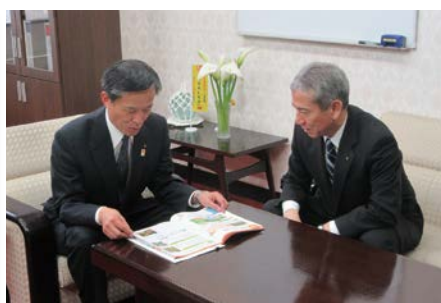
● J Aバンク食農教育応援事業の展開

県下J Aは、農業に対する理解とファン作りを目的に、次世代を担う子ども達を対象に「J Aバンク食農教育応援事業」として、次の事業を行っております。

- ・「教材本贈呈事業」は、小学校5年生を対象に、『農業とわたしたちの暮らし』の教材本を贈呈し、授業の中で利用することで、宮崎の主要産業である農業と食の重要性の理解者を育てることを目的とした事業です。
- ・「教育活動助成事業」は、J Aが行う、子ども・小学生等を対象とした農業体験学習や料理教室等の活動に対し助成を行うことで、子どもの食への関心を高め、食の大切さ、食を支える農の役割などに対する理解を深めることを目的とした事業です。



「教材本」



「宮崎県教育委員会 四本前教育長に
教材本を贈呈」

● 年金相談会の実施

年金に関する社会的関心が高まる中で、県下ＪＡに社会保険労務士を派遣し、年金相談会を実施しております。

● 住宅ローン相談会の実施

昨今の低金利により住宅ローンのニーズが高まる中、県下ＪＡにおける住宅ローン相談会の開催支援を行っております。

● AEDの設置

ＪＡビル内に、事故や病気で突然心臓が止まった人に電気ショックを与え正常な心臓の動きを取り戻すための医療機器ＡＥＤ（自動体外式除細動器）を設置し、万が一の救命処置に対応できるよう備えております。

また、普通救命講習に参加してＡＥＤ、救命処置、応急手当等に必要な正しい知識や技能を習得しております。

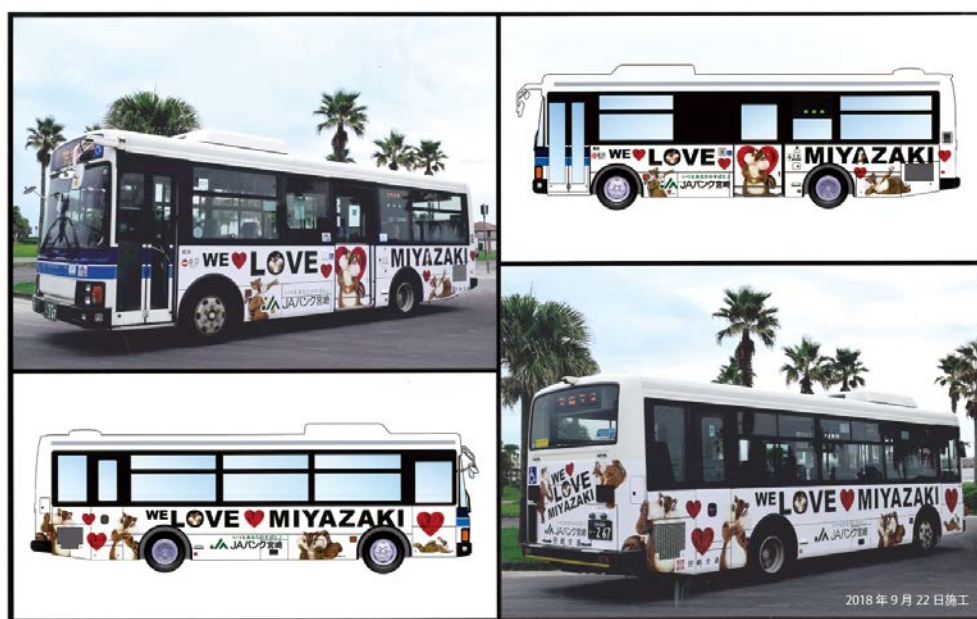
● 環境保全対策運動の実施

当会は、地球温暖化防止を目指し、古紙のリサイクル運動や省エネ運動を実施しており、エレベーター使用自粛、冷暖房の適正利用等により、CO₂削減を目指しております。

● ちょりスカラーバスの運行

ＪＡバンクのイメージアップを目的に、ＪＡバンクイメージキャラクターである「ちょりス」を活用したカラーバスを宮崎・都城・延岡の各市および近郊３路線で運行しております。

地域に寄り添い、宮崎の発展に貢献する「宮崎愛」を「ＬＯＶＥ」というワードで表現し、ＪＡバンクの親しみやすさをＰＲしております。



JA バンク宮崎フルラッピングバス

● グッドマナープロジェクト（地域貢献自治体連携サービス事業）への参加

愛犬家のマナーグッズ（犬のフン取り用ペーパースコップ）を地元自治体を通して地域住民へ配布し、地域貢献活動を展開している「グッドマナープロジェクト」に参加しております。

● 宮崎県立芸術劇場主催の舞台「こどももおとなも劇場」への協賛

宮崎の未来ある子どもたちやそのご家族に、良質な生の演劇に触れていただく機会を拡げることが目的として実施される舞台「こどももおとなも劇場」に協賛しております。



● MRT HAPPY Smileキャンペーンへの協賛

新入学児童を対象に防犯ブザーを無償配布し、ラジオCM・テレビCMやポスターを通し、子どもたちの防犯対策と交通安全に対する注意喚起を行うことで、地域が一体となって犯罪や交通事故から子どもたちを守る「MRT HAPPY Smileキャンペーン」に協賛しております。

● 宮日キッズサッカー大会の共催

宮崎県内の多くの幼児にサッカーをプレーしてもらうことで、その楽しさや喜びを知ってもらい、あわせて親同士や子ども同士の親睦を深め、地域を越えた交流を促進することを目的に、宮崎日日新聞社と共同でサッカー大会を開催しております。



● 赤十字事業への協力

献血車をJ Aビルに定期的に受け入れるなど、日本赤十字社の献血に積極的に参加・協力しております。

● 災害復興支援活動

昨年より発症が見られていた「サツマイモ基腐病」が2019年度においても、南那珂地域において6月に発症、8月後半から9月にかけて急激に拡大し、大きな被害となりました。

このため、協同組合組織として、一日も早い収束に向けて、かんしょ残渣処分に職員を派遣し、復旧作業を続けております（2019年10月現在）。

また、2019年8月の大雨による九州北部豪雨、台風15号・17号・19号の影響による記録的な大雨や強風により、関東甲信越地方、東北地方は甚大な被害を受け、農業にも大きな被害が発生しました。

地域の生活を守る協同組合組織として、被災地の復興を願い、役職員による募金活動を行いました。

● エコキャップ回収活動

ペットボトルキャップを回収し、業者を通じてJCV（世界の子どもにワクチンを日本委員会）へ届けることで、子どもたちにポリオワクチンを贈る運動に取り組んでおります。



組織・機構

● 組織情報

(2019年10月1日現在)

設立年月	職員数	出資金
昭和23年8月	114名	24,500百万円

● 店舗

(2019年10月1日現在)

店舗名	所在地	代表電話番号
本所	宮崎市霧島1丁目1番地1	(0985) 31 - 2062

● 協同会社

(2019年10月1日現在)

名称	所在地	設立年月日	資本金	当会出資比率	業務内容
(株)九州地区農協 オンラインセンター	福岡市南区横手 2-13-35	昭和52年10月1日	85億円	12.44%	九州地区の農協・ 農協連合会業務の 電算機による処理

● 自動化機器の設置状況

ATM（現金自動預入・支払機）の設置台数

(2019年10月1日現在)

区分	店舗内	店舗外
JA設置	97台	45(6)台
信連設置	2台	1(1)台

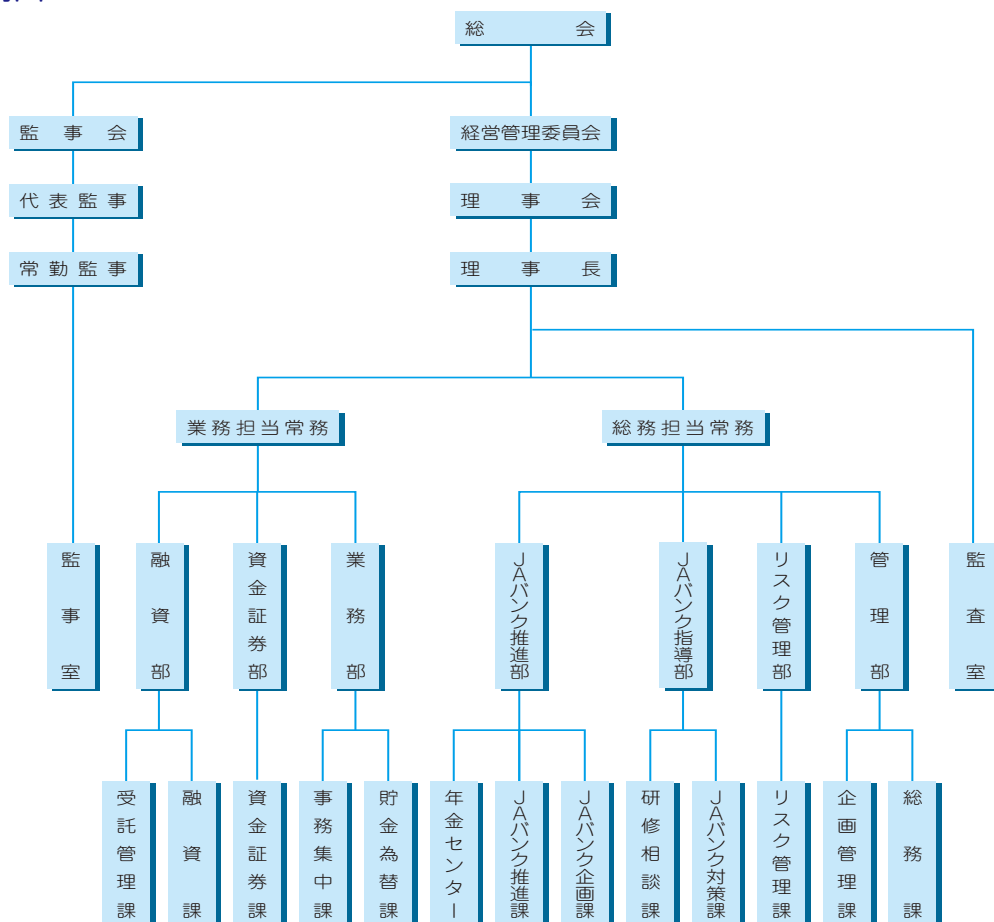
() うち共同設置台数

● 特定信用事業代理業者の状況

該当する取引はありません。

● 機構図

(2019年10月1日現在)





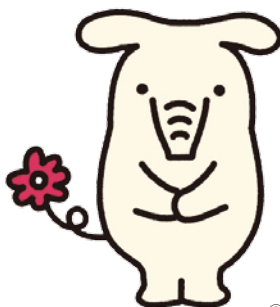
ホームページのご案内

当会の概要や経営・財務の状況をはじめ、ＪＡバンク宮崎の各種お知らせはインターネットのホームページでご覧いただくことができますのでご利用ください。

なお、当会の個人情報の利用目的、保有個人データに関する開示等手続き、共同利用に関する事項などにつきましても掲載しておりますので、ご参照ください。

ＪＡバンク宮崎ホームページアドレス：<http://ja-bank.ja-miyazaki.jp/>

ＪＡ宮崎信連ホームページアドレス：<http://shinren.ja-miyazaki.jp/>



©よりぞう

LINE@ × @jabkmiyazaki

今すぐお友だち登録！ お得な情報を手に入れよう。



©よりぞう

お友だちになって
お得な情報を
GETしよう！

2019年12月発行



宮崎県信用農業協同組合連合会

管理部 企画管理課

〒880-8686 宮崎市霧島1丁目1番地1

TEL (0985)31-2064

FAX (0985)31-5006

